

ズーム朝会の話

皆さん、おはようございます。

先週のきらりを紹介します。

一つ目、さわやかなあいさつが響き渡ったことです。

先週の土曜日に学校関係者評価委員会と評議員会がありました。「評議員会の皆さんが歩いていると子どもたちから『こんにちは』と元気よく挨拶ができて素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。校長先生も一緒に歩いていて、同じことを感じました。

二つ目、鼓笛隊の発表会が素晴らしかったことです。

運動会で披露する予定でした。運動会ができなくなってしまいましたが、練習を続けて土曜日に発表することができました。努力が実を結びよかったなと思っています。代表のあいさつに発表の場を設けてくれた先生方への感謝の言葉、コロナがこの先どうなるかわからないけれども頑張ってくださいと下級生への励ましの言葉がありました。周りの人たちへの気持ちが表れている素敵なあいさつだと思いました。聞いている人たちの手拍子をしながら楽しそうな様子を見て、演奏する人と聞く人が一体となった素敵な鼓笛隊の発表会でした。

三つ目は、三小には自分の手で学校をきれいにしようとする人がたくさんいることです。

整美委員会から、「月曜日と、木曜日に落ち葉掃きのボランティアを募集しています。」と呼びかけがありました。するとたくさんのお友達が進んで落ち葉掃きをしている姿を見ることができました。自分で考えて行動できる三小の皆さんは素晴らしいです。

さて、今月は「ふれあい月間」です。

今週はふれあい月間にちなんで「1秒でできること」についてお話しします。

校長先生は、三小はとても素敵な学校だと思っています。

教職員、保護者、地域の皆さんは、いつも子どもたちのことを第一に考えてくださっています。そして、三小の子どもたちは、コロナ禍で制約がある中、お友達に自分の考えを伝えながら一生懸命、お勉強を頑張って学校生活をおくっています。

ここで、皆さんにお尋ねします。

「三小をもっと素敵にする1秒でできること」ってどんなことがあると思いますか。

考えてみましょう！

いろいろ考えてくれたことと思います。

例えば、「おはよう」「さようなら」のあいさつもできます。「ありがとう」「ごめんなさい」「お願いします」も言えます。〈ふわふわ言葉〉はたった1秒の短い言葉ですが、自分の心と周りの人との心を優しく温かくつなげて、みんなの気持ちを幸せにしてくれます。

同じ1秒の言葉でも〈ちくちく言葉〉は、相手の心を深く傷つけるナイフのような言葉です。自分と周りの人とのつながりを一瞬にして断ち切ってしまふ、どんなことがあっても絶対に使ってはいけないこわい言葉です。

わずか1秒の言葉でも、人を幸せにしたり、不幸にしたりします。〈ちくちく言葉〉は使わず、〈ふわふわ言葉〉が溢れると、もっともっと素敵な三小になることと思います。

今週からマラソン旬間が始まります。コロナにくれぐれも気を付けて、頑張りましょう！

今日は表彰があるので、校長先生のお話はこれで終わります。